

吉田コミュニティだより

令和7年度

11月号

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局

0954-43-9380

第14回吉田地区グラウンドゴルフ大会開催

～栄冠は誰の手に？



澄み渡った秋空のもと、令和7年11月8日（日）に吉田コミュニティの健康福祉部会（峰正己部会長）主催による「第11回吉田地区グラウンドゴルフ大会」を吉田小学校・中学校のグラウンドをお借りして開催しました。参加者75名による熱戦となりました。優勝は、ホールインワン2回、16ホールを35打で回られた中島利充さん（東吉田）、準優勝は片岡繁美さん

（真上吉田）、3位は大串健さん（皿屋）となりました。また、コミュニティのグラウンドゴルフ大会は、親睦・交流を目的としていますので、チーム編成も行政区がばらばらになるように調整しております。初めて言葉を交わした方もいたかと思いますが、和気あいの雰囲気であちこちから笑い声が弾けていました。



健康講座「身体にいい食事を考えよう」

講師：野中医院 田邊章弘院長

コミュニティ健康福祉部会（峰正己部会長）では、10月30日に吉田公民館1階会議室において、健康講座を開催しました。講師は、野中医院田邊章弘院長にお願いして、「身体にいい食事を考えよう」というテーマで40名参加の満室状態での開催となりました。

わたしたちの日々の暮らしの中で、大きな比重を占める毎日の食事について、おいしさばかりでなく、身体

にいい食べ方を実践することにより、百歳を目指しましょうという内容でした。具体的には、血糖値を上げないようにごはんやパンは順番として食事の終わりごろに口にするとか、ケチャップよりマヨネーズの方が体にいいなどたくさんためになる情報をわかりやすく教えていただきました。

今回は、昼の部でしたが、昼に来られない方のために同様の内容で11月17日（月）午後7時から、吉田公民館において開催します。また、講演録は年度末に全戸に配布しますので、読んで参考にさせていただきたいと思います。



第16回「子ども夢会議講演会」開催



11月9日（日）に「第16回子ども夢会議講演会」が青少年育成部会（小池知世部会長）の主催で開催されました。講師は、嬉野市内在住で、薬剤師として勤務されながら、昨年「角川春樹小説賞」を受賞された小説家の愛野史香氏です。演題は「薬剤師として働きながら物語を書くこと」で、小説家と現役の薬剤師の二刀流の日常やご苦労などについて、お話していただきました。

小説家になった切っ掛けについては、薬剤師として勤務しているときにある患者とのふれあいの中で、自分の書いた本を苦しい境遇にいるひとに読んでもらい

たいと思ったことだったそうです。集まった小学生30人、中学生42人と保護者の皆さんは、愛野さんのお話に共感されたのか、質問の時間に多くの手が上がりました。そのひとつを紹介すると「小説を書く上で大切な力は何ですか？」という問いに対して「途中であきらめないこと。」と回答されました。また、他にも子どもたちに「気付く力を持とう。」と呼びかけられて、「勉強や経験に無駄なことはひとつもない。そこにある他人が気付かないものが、自分の財産になる。」と経験の一つを交えてお話していただきました。

笑ってYわい会視察研修！

10月28日（火）に、笑ってYわい会が、今年度の視察研修のために福岡県糸島市で子ども食堂を運営されている「いとしまこども食堂ほっこり」を訪問しました。団体代表の方、区長、NPO、九大サークルの方たちから、毎月の運営などについて、詳しくお話をお聞きすることができました。印象に残ったのは、「本当に子どもたちが餓えているわけではない。この活動で子どもたちを含めた地域の皆さんの拠り所を作っている。」という言葉でした。



百歳体操グループ合同練習会及び体力測定実施！

10月22日（水）に、健康福祉部会（峰正己部会長）が、百歳体操グループによる合同練習会及び体力測定を実施しました。

DVD 動画に合わせて頭の体操になるような運動を行ったり、専門の器具による体脂肪や筋肉量の測定、握力や早歩き的时间測定などを行い、自身の体力の現在地を知って、向上や現状維持を図ろうという目的による開催でした。



ちょっと拝見

10月26日に葦筒神社例大祭に出し物として、1733年から続く、波佐見町の皿山人形浄瑠璃保存会の皆さんによる「三番叟」が、奉納されました。この演目は、特別な機会に上演される祝賀を意味するものとなっているそうです。

